

総合評価方式の評価

総合評価方式を評価する視点

総合評価方式は、価格のみの競争でなく技術力のある企業を評価して工事の品質を高めることを目的としているので、受注者選定の入札段階と工事品質を評価する竣工段階で評価する。

入札段階の評価

【傾向】

▷ 試行件数は、平成26年度の合併建設事業終了で大幅に減少し、その後も減少傾向となっている。

▷ 技術点1位または価格点1位が落札する割合は、平成25年度以降67%前後で推移している。技術・価格点共に1位である落札者の割合は、29年度以降40%から上昇傾向である。

【考察】

▷ 技術点、価格点とも、ほぼ同じ比重で落札に反映されている。

▷ 技術点も価格点も高いものが落札する傾向である。

竣工段階の評価

【傾向】

▷ 平成25～29年度までの5か年平均に比べ、一般競争入札(通常)は1.2点、総合評価方式は2.1点工事成績評定点平均点が上昇している。

▷ 総合評価方式による平均点は一般競争入札(通常)より高い水準を維持している。

【考察】

▷ 総合評価方式では、品質の高い工事が行われている。

まとめ

総合評価方式は、価格のみ評価する一般競争入札と比べ

- ・ 技術力を持ち合わせた会社との契約
- ・ 質の高い工事目的物の完成

という目的に対して、一定の効果が出ており、工事の品質向上につながっている。

■ 平成31年度の主な改正点

▷ 評価基準の改正

1 企業の工事成績：算出基準点の引上げ 72→74点

算出対象工事の設計額の引上げ 500万円以上→1000万円以上

2 企業と配置予定技術者の同種工事の工事成績：評価する成績点の引上げ 77点以上→78点

3 企業の同種工事の工事成績：施工実績件数の見直し 最大5件→1件の成績に応じて評価

4 企業の総合評価方式受注回数：受注した回数 5回受注で0点→2回受注で0点

▷ 評価項目の改正

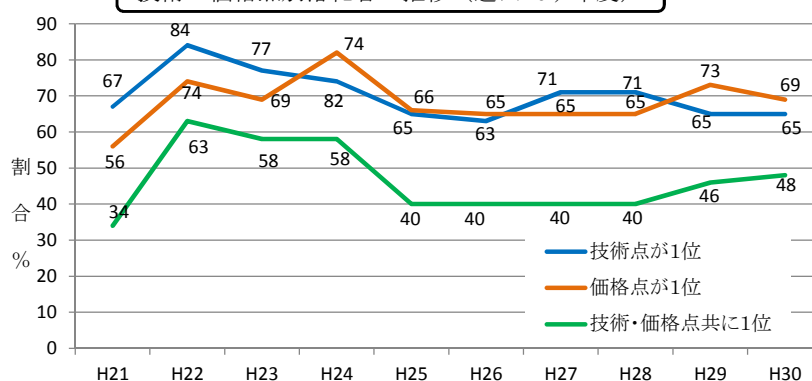
1 新規雇用：中止

試行件数

年度	件数
H18～20	151件
H21	115件
H22	125件
H23	275件
H24	121件
H25	118件
H26	115件
H27	78件
H28	98件
H29	53件
H30	49件
合計	1,298件

※件数には、不調、入札中止など試行した全ての案件数を含む

技術・価格点別落札者の推移 (過去10ヶ年度)



工事成績の推移 (過去10ヶ年度)

